

**「優しく 正しく 邪しく」**

令和7年8月25日発行 第5号

【学校教育目標】

**夢と志をもち、自ら正しく判断し行動できる、逞しい生徒の育成**

発行責任者 校長 一司 和穂

**互いの頑張りやよさを認め、励まし合いながら共に成長できる2学期に!!**

本日、2学期始業式を行いました。夏休み中は大きな事故やけがの報告がなく、元気な笑顔が揃って2学期をスタートできたことを嬉しく思います。ただ、8月11日の未明から午前中にかけて線状降水帯がもたらした豪雨で、八代市内でも大きな被害が出ました。四中校区でも場所によっては大きく浸水した地域もあり、未だに不便な生活を送っている人もたくさんいます。早く日常を取り戻せることをお祈りいたします。

今回の豪雨では、水無川の水かさも急激に増し、氾濫警戒水位の2mを超えたという情報やSNS等で報告される八千把校区の冠水状況を見ながら、四中は大丈夫かと心配になりました。8月11日の午後に水が概ね引いたところで四中に来て点検しました。すると、あと5cmで校舎内に床上浸水、体育館にもあと10cmほどで水が入るというギリギリのところで被害を免れていたのでホッとしました。

近年、災害が起こったときに落ち着いて避難できるよう「マイタイムライン」を各自作成しています。ただ、その避難場所や避難方法は地震発生時のイメージが強く、今回の豪雨災害には適していないのではと感じました。四中周辺の一次避難所は八千把コミセン、二次避難所は四中になっており、その対策として昨年度体育館に冷暖房設備が設置されました。しかし、今回の冠水状況では、八千把コミセンも四中も敷地内に入ることが難しく、避難が困難な状況でした。一方で、八千把小学校は冠水の被害がほとんどありませんでした。8月20日に八千把小学校の3階から八千把コミセンと四中を見たとき、予想以上に高さが違うことに気づき、冠水時は八千把小学校への避難が適切だと感じました。この機会に、八代市のハザードマップ等をもう一度見て、水害が発生した場合のマイタイムラインを見直しましょう。

さて、話題を2学期のスタートに戻します。2学期は1年で最も長く、行事も盛りだくさんです。始業式で右の3名が代表で決意表明をしました。学習面や生活面、部活動、行事への意気込みなど、具体的な目標や心構えを堂々と述べてくれました。

たくさんのことを行える機会があるからこそ、目標や心構えのもち方しだいで自分自身が大きく成長できるチャンスがごろごろ転がっているのが2学期のよいところです。うまくいかないこともたくさんあるでしょうが、仲間と協力し、助け合いながらひとつひとつ乗り越えていきましょう。悩んだり戸惑ったりするのはみんな一緒です。お互いの頑張りやよいところを認め、励まし合いながら、声を掛け合い共に成長していきましょう。

9月3日から体育大会の練習も本格的にスタートします。まだまだ暑い日が続きますので、水分補給など体調管理に気をつけ、充実した日々を過ごしていきましょう。

そして、皆さんのが逞しく成長した姿を保護者や地域の方々に見ていただき、災害等で落ち込んでいらっしゃる方々にも元気を分けていけることを期待します。

職員室外側入口→  
(あと5cmのところに冠水跡)←体育館西側入口  
手前のスロープ  
(冠水跡)

〈代表発表の3名〉 左から順に  
1年2組 2年2組 3年2組  
佐々川奈桜さん 守屋 拓海さん 森田 姫花さん